



## 株式会社浅沼組

2022年3月期第2四半期決算説明会

2021年11月12日

## イベント概要

---

[企業名]	株式会社浅沼組		
[企業 ID]	1852		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2022 年 3 月期第 2 四半期決算説明会		
[決算期]	2021 年度 第 2 四半期		
[日程]	2021 年 11 月 12 日		
[ページ数]	17		
[時間]	11:00 – 11:24 (合計：24 分、登壇：17 分、質疑応答：7 分)		
[開催場所]	103-0026 東京都中央区日本橋兜町 3-3 兜町平和ビル 3 階 第 3 セミナールーム (日本証券アナリスト協会主催)		
[会場面積]	145 m <sup>2</sup>		
[出席人数]			
[登壇者]	4 名		
	代表取締役社長執行役員	浅沼 誠	(以下、浅沼)
	代表取締役専務執行役員社長室長	山腰 守夫	(以下、山腰)

---

### サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

執行役員技術研究所所長

石原 誠一郎（以下、石原）

執行役員社長室次長

八木 良道（以下、八木）

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 登壇

---

**司会**：皆様、おはようございます。定刻となりましたので、ただ今から株式会社浅沼組様の IR ミーティングを開催いたします。まず最初に会社からお迎えしている 4 方、ご紹介申し上げます。代表取締役社長執行役員、浅沼誠様。

**浅沼**：浅沼です。よろしくお願いいたします。

**司会**：代表取締役専務執行役員社長室長、山腰守夫様。

**山腰**：山腰です。よろしくお願いいたします。

**司会**：執行役員技術研究所所長、石原誠一郎様。

**石原**：石原です。よろしくお願いいたします。

**司会**：執行役員社長室次長、八木良道様。

**八木**：八木です。よろしくお願いいたします。

**司会**：本日は浅沼社長様からご説明をいただき、お話が終わりましたら質疑応答とさせていただきます。それでは、浅沼様。よろしくお願いいたします。

**浅沼**：ただいま、ご紹介いただきました社長の浅沼誠です。どうぞよろしくお願いいたします。本日は、弊社の 2022 年 3 月期第 2 四半期決算説明会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、説明を簡単にポイントのみの説明といたしますので、ご理解のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、2022 年 3 月期第 2 四半期の通期計画に対する進捗と、中期 3 カ年計画の施策の進捗についてご説明させていただきます。

---

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



主な指標 (連結)	2022/3期				
	通期計画	Q1実績	進捗率	Q2実績	進捗率
受注高	1,321	287	21.7%	<b>590</b>	44.7%
完成工事高	1,390	291	21.0%	<b>592</b>	42.6%
完成工事粗利益	136	23	17.0%	<b>56</b>	41.0%
完成工事粗利益率	9.8%	7.9%	—	<b>9.4%</b>	—
販管費	86	22	25.3%	<b>42</b>	49.2%
営業利益	53	2	3.9%	<b>15</b>	28.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	42	1	3.2%	<b>10</b>	22.9%
配当 (配当性向)	260円 (50.2%)	—	—	—	—

3ページをご覧ください。表には第1四半期および第2四半期の実績と、通期計画に対する進捗率を掲載しております。表の右側にある第2四半期実績について申し上げますと、受注は590億円。進捗率は44.7%となりましたが、現状の手持ちの案件から見て、計画達成は可能だと考えております。

次に完成工事高は592億円、進捗率は、着工の遅れなどにより42.6%となり、完成工事粗利益は56億円、進捗率は完成工事高とほぼ同じの41.0%となりました。完成工事高が着工の遅れの影響で計画を若干下回ったとしても、追加工事などにより、工事粗利益率が計画以上に向上する見込みであり、工事粗利益の計画達成は十分可能だと考えております。

販管費の進捗率が49.2%となっているため、また、政策保有株式の売却予定が下期となっているため、営業利益、純利益の進捗率は20%台にとどまっていますが、工事粗利益の計画達成と、下期の株式売却により、営業利益、純利益とも計画達成は十分可能だと考えています。なお、配当計画については変更しておりません。

#### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 受注の現況 (個別)



(単位：百万円)

			2021/3期 Q 2		2022/3期 Q 2		
			実績	構成比	実績	構成比	前期比
建築	官	庁	9,724	21.2%	<b>11,492</b>	22.7%	1,767
	民	間	36,106	78.8%	<b>39,043</b>	77.3%	2,936
			45,831	100.0%	<b>50,535</b>	100.0%	4,704
土木	官	庁	4,733	47.1%	<b>6,524</b>	83.4%	1,791
	民	間	5,325	52.9%	<b>1,295</b>	16.6%	△4,029
			10,058	100.0%	<b>7,820</b>	100.0%	△2,238
建土	官	庁	14,457	25.9%	<b>18,016</b>	30.9%	3,559
	民	間	41,432	74.1%	<b>40,339</b>	69.1%	△1,093
			55,890	100.0%	<b>58,356</b>	100.0%	2,465

参考	2021年9月末時点の案件金額		
	個別通期計画	要 受注額	案件金額
	1,300億円	717億円	2,800億円

4

次に、4 ページをご覧ください。新型コロナの影響を最も受けるのは受注ですので、その現況を説明いたします。個別の今期、第2四半期実績は前年同期比で、上の表の右端にありますように、建築は官庁、民間ともに増加し、土木は、官庁は増加しましたが、民間につきましては、減少しました。

主な増減につきましては、建築では工場、倉庫が増加し、土木では、官庁工事で上下水道が増加しましたが、民間工事で前期にアウトレットの大型造成工事があったため減少いたしました。確かに受注環境は新型コロナ前に比べ厳しくなってきてはいますが、提案営業に注力し、利益が確保できる案件に絞った受注営業を続けており、一番下の欄外にありますように、個別では計画達成までにあと717億円受注する必要がありますが、現状の手持ち案件では2,800億円となっております。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 国内 建築リニューアル

(単位：億円)

	2022/3期計画	Q2実績	進捗率	2023/3期計画	2024/3期計画
受注高	200	98	49.0%	250	300
完成工事高	200	78	38.8%	250	300
営業利益	12.0	4.8	40.8%	14.5	17.4

<b>目標</b>	2024年3月期に国内のリニューアル事業の営業利益を連結営業利益の25%に
-----------	---------------------------------------

## ASEAN リニューアル

	2022/3期計画	Q2実績	進捗率	2023/3期計画	2024/3期計画
受注高	14	7	50.0%	65	66
完成工事高	18	8	46.8%	63	66
営業利益	0.5	0	16.0%	5.6	6.3

<b>目標</b>	2024年3月期にASEANのリニューアル事業の営業利益を連結営業利益の10%に
-----------	--

5

次に5ページをご覧ください。中期3カ年計画において、特に注力し、取り組みを進めておりますリニューアルの現況についてご説明いたします。上の表は、国内の建築リニューアルの進捗状況です。2022年3月期計画に対する進捗率は、受注49.0%、完成工事高38.8%、営業利益40.8%となっていますが、手持ちの工事の進捗が順調に推移していますので、各項目の計画達成は可能と考えております。また、国内のリニューアル事業の営業利益を2024年3月期には連結の営業利益の25%にすべく、新しいリニューアルブランドである ReQuality を推進しております。

下の表は、ASEANにおけるリニューアルの進捗状況です。シンガポールにあります子会社の業績の進捗が順調に推移しており、各項目の計画達成は可能と考えております。また、ASEANのリニューアル事業の営業利益を2024年3月期には連結営業利益の10%にすべく、タイにおける高速道路や橋脚のリニューアル新会社を本格稼働させ、そして、新たなM&Aの検討も進めております。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## — 基本方針 — 浅沼組らしさ(独自性)を深耕させ「変化に挑戦」

外部環境変化への挑戦	★ 長期的に縮小する国内建設投資とインフラ・建築構造物の老朽化により堅調に推移する国内維持・修繕事業投資
	1. ASEAN地域におけるリニューアル事業への取り組み強化継続等 2. 『ReQuality』リニューアルブランド戦略の推進等
	★ 建設分野における生産労働人口の減少
	1. 独自技術である「Ai-MAP SYSTEM」の高度化等 2. 協力会社との協働推進
資金投入計画	★ 非財務経営活動(ESG・SDGsなど)による企業評価向上の機運
	1. 「E」：エコフレンドリーASANUMA21の推進等 2. 「S」：『ReQuality』の一環でWELL認証の取得等 3. 「G」：政策保有株式の削減
	◆ 技術開発・ICT関連投資 : <b>30億円</b> (耐震・免震技術、Ai-MAP SYSTEM高度化、環境関連技術等) ◆ 新領域関連投資 : <b>50億円</b> (ASEAN地域リニューアル事業拡充、コンセッション事業推進等)

6

6ページをご覧ください。こちらでは、中期3カ年計画の施策についてご説明いたします。今期から始めました中期3カ年計画においては、表にありますように、三つの外部環境の変化に対応するための施策に取り組んでおります。

一つ目の変化としましては、長期的に縮小する国内建設投資とインフラ・建築構造物の老朽化により、堅調に推移する国内維持・修繕事業投資です。二つ目は、建設分野における生産労働人口の減少です。三つ目は、ESG、SDGsなど非財務経営活動による企業評価向上の機運です。また、施策に対する資金投入につきましては、この3カ年で技術開発・ICT関連投資で30億円。新領域関連投資で50億円を計画しております。この三つの変化に対応するための施策の中で、上期に進捗のあった主なものについてご説明いたします。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 9月から名古屋支店をショールーム化

## リニューアル工事の特徴（脱炭素と資源の循環）

- ・新築として建て直す場合と比べ、CO2排出量を**85%削減**
- ・改修前に比べ、エネルギー消費量を**52%削減**、**ZEBready認証**を取得予定
- ・健康・快適性を基準に建物を評価する**WELL認証**を取得予定（予備認証取得済み）  
築30年のビル全体をリニューアルし、正式認証を受けるのは**日本初**



7

7ページをご覧ください。ReQuality、リニューアルブランド戦略の推進についてご説明いたします。新しいリニューアルブランド、ReQualityのコンセプトに沿って、リニューアル工事を進めてきました名古屋支店が9月に竣工し、ショールームとして活用を始めました。リニューアルにあたっては、左側のグラフにありますように、新築として立て直す場合と比べ、CO<sub>2</sub>排出量を85%削減できました。また、右側のグラフにありますように、改修前と比べ、エネルギーの消費量を52%削減できました。今後、ZEB readyの正式認証を取得する予定をしております。

さらに健康・快適性を基準に建物を評価するWELL認証について、現在、予備認証は取得済みではございますが、今後、正式認証を取得する予定であります。築30年のビル全体をリニューアルし、認証を受けるのは日本で初めてとなります。この名古屋支店のリニューアルを契機に、環境提案を主とした受注営業を拡大し、先ほども申し上げましたが、中期3カ年計画の最終年度には、国内リニューアル事業の営業利益を連結営業利益の25%にしたいと考えております。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## DX推進へ

- ・ 熟練技術者の動作・行動・音声をデータ化し分析
- ・ 遠隔地からの現場管理
- ・ 発注者や監督官庁などとの情報共有

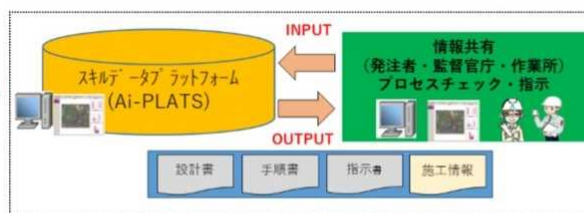
## 技能伝承



## 遠隔管理



## 情報共有



## 事業化への取り組み

現在事業化へ向けた地方の建設会社からのニーズ調査と事業計画策定に着手

次に 8 ページをご覧ください。こちらでは独自技術である Ai-MAP SYSTEM の高度化についてご説明いたします。このシステムの主な機能としましては、一つ目として、熟練技術者の動作や行動を解析し、技能伝承が可能です。二つ目として、遠隔地からの現場管理が可能で、時間短縮や、情報共有、または災害時における対応が可能です。三つ目として、発注者や監督官庁などの外部システムとの情報共有が可能です。

現在、作業所で生産性向上につなげるべく活用を進めていますが、様々な業種からの問い合わせが来ており、特に地方の建設会社のニーズ調査と販売事業化に向け、そのニーズに見合った事業計画策定に着手しております。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

取り組み	内 容
作業所生産性向上策表彰 及び発表会開催	・各作業所における協力会社との協働による生産性向上策を募集、表彰、発表会開催 (コスト削減、工期短縮など)
外国人受入支援窓口・ 外国人相談窓口の設置	・2019年に「特定技能」を持った外国人労働者の受け入れを希望する協力会社への 受け入れ支援の相談窓口を設置 ・2021年より新たに「特定技能」を持った外国人労働者からの相談窓口を設置
建設キャリアアップシス テム (CCUS) の推進	・建設業の魅力向上に向けて、建設技能者の処遇改善、キャリアパスの明確化、 施工能力の見える化を目的としたシステム
浅沼マイスターの推進	・協力会社の職長の中から浅沼マイスターとして選任 ・奨励金の授与を行い賃金面からの処遇を改善

9 ページをご覧ください。こちらでは、協力会社との協働推進についてご説明いたします。昨今、作業員の高齢化に伴う人手不足が喫緊の課題となっており、建設技能者の処遇改善や生産性の向上に向けた協力会社との協働に取り組んでおります。

その中で主なものにつきましてご説明いたします。各作業所における協力会社との協働によるコスト削減や、工期短縮効果など生産性向上策の募集を 2019 年から開始し、選考の上、優秀な施策につきましては、表彰と発表会を開催しています。本年度で 3 回目を迎えましたが、応募総数は年々増え、本年度は 77 編となっております。

次に、人口減少や高齢化に伴う技能者の減少を補うために、2019 年より新たな在留資格である特定技能を持つ外国人の受け入れが始まりました。それに伴い、外国人の受け入れを希望する協力会社を支援する相談窓口を 2019 年に設置し、本年 7 月には、特定技能を持つ外国人からの仕事に関する悩みなどの解消を支援する相談窓口も設置いたしました。

建設キャリアアップシステム、CCUS とは 2018 年に導入され、建設技能者の処遇改善、キャリアパスの明確化、施工能力の見える化を目的としたシステムであり、当社においても全面的に賛同

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

し、カードリーダーの設置の推進や、定期的な協力会社向けオンライン説明会を開催し、また、浅沼組 CCUS サポート事務局を設置し、協力会社からの電話相談対応も開始しております。

浅沼マイスターとは、当社の作業所で長年活躍していただいている職長の中から、実績や貢献度、人格などが特に優れている方を浅沼マイスターとして選任し、奨励金を授与するものです。2021年3月末現在で205名の方が選任されております。

## エコフレンドリー-ASANUMA21の推進



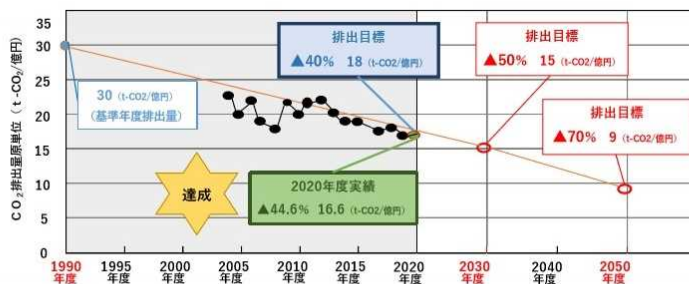
### 基本方針

「脱炭素化の推進」、「資源の循環」、「自然・社会との共生」

### 長期CO<sub>2</sub>削減目標

「施工高1億円当たりのCO<sub>2</sub>排出量を1990年度比で2030年度までに50%、2050年度までに70%削減」

#### CO<sub>2</sub>削減の推移



作業所での取り組み



10ページをご覧ください。こちらではエコフレンドリー-ASANUMA21の推進についてご説明いたします。エコフレンドリー-ASANUMA21は、2010年度より地球温暖化防止対策活動として取り組んでいるもので、長期CO<sub>2</sub>削減目標を施工高1億円あたりのCO<sub>2</sub>排出量を1990年度比で2030年度までに50%、2050年度までに70%削減としています。

現在、作業所では重機作業所における低燃費運転の徹底によるCO<sub>2</sub>排出量削減、騒音、振動の抑制や排水の徹底管理。有害物質の適正処理などによる使う責任を意識した環境対策。汚泥やコンクリートがらなどの再利用の促進、廃棄物の分別徹底によるリサイクルの促進などに取り組んでおります。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



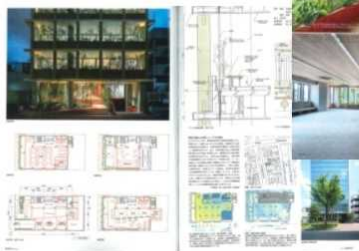
新たな取り組み	内 容
サステナビリティ推進 委員会設置	1. 設置の目的 企業を取り巻く環境の変化を踏まえ、サステナブルな課題に対する活動計画を中長期的な視点で協議し、経営会議に答申
	2. 委員会の構成 代表取締役社長を委員長とし、企画関連や管理の各部長で構成
	3. 委員会の役割 次の事項を決議または審議し、事案によって経営会議に答申 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サステナビリティ推進に関する方針・戦略・計画・施策の審議及び答申</li> <li>・機関決定されたサステナビリティ推進に関する施策等の社内通知</li> <li>・サステナビリティ推進の実績評価及び報告</li> <li>・その他サステナビリティ推進に関する重要事項の検討</li> </ul>
2021年11月 TCFD提言賛同	<p>○TCFD提言に沿って気候変動関連情報の開示を拡充</p> 

11 ページをご覧ください。こちらでは、コーポレート・ガバナンスについてご説明いたします。エコフレンドリーASANUMA21 の推進に全社を挙げて取り組んでいるところではありますが、この推進の一環として、この度、サステナビリティ推進委員会設置と TCFD 提言への賛同を表明いたしました。

サステナビリティ推進委員会設置により、サステナブルな課題に対する活動計画を中長期的な視点で協議し、経営会議に答申し、方針・戦略・計画・施策の検討、審議を進めていきます。また、TCFD 提言の賛同により、環境と経済を両立させる環境経営を推進し、TCFD 宣言に沿って気候変動関連情報の開示の拡充を推進してまいります。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



新建築 10月号

生産の効率化とエラー防止対策に活用

**浅沼 旭**

建設現場では、次世代への生産能力維持の取組みとして、熟練技術の高齢化とデータ活用によるエラー防止のアプローチを具現化させる。匠のアイマップシステム (Ai-MAP SYSTEM) と呼ばれる「アイマップシステム (Ai-MAP SYSTEM)」の研究開発を継続している。データ活用の構成ツールとして、スキルデータプラットフォーム (Ai-PLATS) を開発している。ユースケースに合わせてさまざまな形式の情報をプラットフォーム上でビジュアルアップし、現場情報の収集や進捗確認検査などへの活用と成果品としてのデータの自動編成や粗集積への適用により、生産の効率化とエラー防止対策に活用させる。また、独自の通信システム (Ai-TEC) との併用により、非接触下の環境においても現場距離感を共有でき、リモート業務を含めた生産管理とスキルアップの効果を高めることができる。事例として、橋脚工事や河川施設点検における施工管理の試行により効果を検証している。

建設現場の自動化やデータ活用による、施工進捗の向上や効率化の思想は、今後も継続的な生産革命としてうかがえる。アイマップシステムによるデジタルイノベーション (イメージ)

2021/9/29 日刊建設通信新聞社

12 ページをご覧ください。こちらで最後になりますが、今まで申し上げました施策の取り組みを掲載した記事を紹介いたします。左はリニューアルブランド、ReQuality について建築の専門雑誌である新建築において取り上げていただいたものです。この新建築に掲載されることは建築家にとっての目標ともなっていて、日本の現代建築を語る上で欠かせないメディアと言えます。右の記事は、Ai-MAP SYSTEM について取り上げられたものです。

私からの報告は以上になります。ご清聴どうもありがとうございました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 質疑応答

---

**司会：**ご説明ありがとうございました。それでは質疑応答に入ります。なお、この IR ミーティングは質疑応答も含め、全文を書き起こして公開する予定です。従って、質問の際、会社名、氏名を名乗られますと、そのまま公開されますので、匿名を希望される場合はこの点、ご注意ください。

ご質問ある方は挙手を願います。

**マツハシ：**ストラテジックキャピタルのマツハシと申します。いくつか質問させていただきたいと思います。1 点目が、下期の見方についてであります。追加工事等で利益も上がってくるというお話でありましたが、前期、上期、進捗率が良くなかったのは売上があまり立たなかったということだとおっしゃっていました。その売上というのも、下期には戻ってくると考えていてよろしいのでしょうか。

**浅沼：**下期のほうは期末に向けて、工事の進捗率が上がる傾向にあります。従いまして、下期の完工高のほうが増えるようになると思いますが、先ほど申し上げましたように、仮に着工の遅れが下期に響いて、完工高が計画を下回ったとしても、工事粗利益率が計画を上回る見込みでありますので、工事粗利益自体の計画を達成できると今、見ております。以上です。

**マツハシ：**ありがとうございました。次の質問が、サステナビリティ推進委員会についてであります。開催頻度や開催時間についてイメージを教えてくださいまして、その活動内容の概要とか、その活動内容でのアウトプットについて、どのような形で開示をされていくお考えなのか教えてくださいましてと思います。

**浅沼：**委員会そのものは、先般の開示 11 月 5 日時点で設立をしました。ただ、当然のことながら、その準備のための打ち合わせを委員会的なものでやっておりました。メンバーは同一であります。現状のところ月 1 回の頻度でやっておりましたが、今後もその程度の頻度でやりたいと思っております。

内容につきましては、いろいろ広範囲になるかと思えます。当面のところは、多様な人材の確保、管理職への登用、そういった面で、きちっと進めていきたいということと、まだシステムといえますか、方法がはっきりしていないと思えますけれど、気候変動への対応について、会社としてどうしていくかという 2 点を中心に委員会を進めていきたいと思っております。以上です。

---

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



**マツハシ**：分かりました。今の質問と少し重複するのですがけれども、TCFD 提言に賛同されることを発表しました。具体的にどのように内容を充実させていくお考えなのかというところと、あと先ほどの質問でお答えいただけなかったアウトプットとしてどんな形で、コーポレート・ガバナンス報告書なのかとかそういったところについてお答えいただけたらと思います。

**浅沼**：アウトプットにつきましては、当然のことながらコーポレート・ガバナンスコード報告書に、サステナビリティ関連の私どもの取り組みについて記載をして、早めに開示をしたいと思っております。当面のところ注力すると今、申しあげましたように、多様な人材の確保、登用、それと、まだ業界としてもはっきりしないところはあるのですが、気候変動への取り組みについて着実に進めていきたいと思っております。

**司会**：それでは、ほかにご質問ある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ご質問もないようですので、以上をもちまして浅沼組様の IR ミーティングを終了いたします。本日はご参加いただき誠にありがとうございました。

[了]

---

## 脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

---

## サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com